

自動血球分析装置

購入仕様書

埼玉県立精神医療センター

I. 調達物品の構成内容

調達機器名 自動血球分析装置

自動血球分析装置システムは、血球成分の測定を目的とする機器である。

(機器システム名)

1. 小型自動血球分析装置

1 式

- 注 1 医療機器は入札時点で薬事承認を受けていること。
- 注 2 入札時に製品化されていない機器・構成で応札する場合は、要件を満たすことが可能なことを証明する資料を添付すること。
- 注 3 機器費には以下の分析装置本体、無停電装置だけでなく、設置費用、電気給排水工事費用、システム接続費、定期メンテナンス費・機器校正費（校正チェック試薬含む）、旧製品撤去費用を含む。

II. 物品調達の主な仕様

1. 小型自動血球分析装置

1) 測定項目及び測定方法

- 1) - (1) WBC, RBC, HGB, HCT, MCV, MCH, MCHC, PLT, NEUT%, LYMPH%, MONO%, EO%, BASO%, NEUT 実数, LYMPH 実数, MONO 実数, EO 実数, BASO 実数が測定できること。
- 1) - (2) 白血球 5 分類の測定方法は、半導体レーザーを用いた蛍光フローサイトメトリー法であること。
- 1) - (3) 血小板測定法は、電気抵抗方式で測定が可能であること。
- 1) - (4) HGB 測定にシアンを使用していないこと。
- 1) - (5) 体液成分(胸水、腹水、髄液)の測定分析できること。
- 1) - (6) 複数検体を同時に積載し、順次測定が可能であること。

2) 機能

- 2) - (1) CBC, CBC+DIFF が、上位システムのオーダーにより選択測定ができること。
- 2) - (2) 処理能力は CBC+DIFF で 60 検体/時以上であること。
- 2) - (3) マニュアル、サンプラーの切り替えが容易であること。
- 2) - (4) 上位システムとオンラインによる依頼、データ転送、保存が可能であること。
- 2) - (5) 付属プリンターで測定データ及び累積精度管理の月別集計と年別集計の打ち出しができること。
- 2) - (6) 日常メンテナンスが容易であること。
- 2) - (7) 設置にあたって架台(現架台 150×75×73 cm)などが必要な場合はそれをふくむこと。
- 2) - (8) 検体、データ待避が可能な能力の無停電装置を付属すること。
- 2) - (9) 操作パネルは日本語表記であること。
- 2) - (10) 希釈モードが設定されており、モード切り替えのみの操作で測定ができること。
- 2) - (11) 自動再検機能を有し、ディスクリートオーダーが可能であること。
- 2) - (12) 機器サイズは本体及び周辺機器(モニター、プリンター)含め、幅 900 mm、奥行き 700mm 以内の大きさであること。
- 2) - (13) 希釈液と溶血剤は小容量と大容量を選択できること。

2) - (14) 日常メンテナンスが容易であること。

2. その他

2-1) システム接続

2-1) - (1) 各機器ともシステム接続費用を含むこと。

2-1) - (2) 設置後速やかにシステム接続されること。

2-1) - (3) 接続にあたっては施設と打ち合わせを行い、システム改造が発生する場合はその費用も含むこと。

2-1) - (4) 精度管理データを専用サーバーに自動送信することによりリアルタイムに母集団との比較が出来、要する手段が簡便なこと。また、それに伴う手段を有すること。

2-1) - (5) mobile ルーターを用いてコントロール表示値が自動で受信することが出来ること。

2-2) 設置・研修について

2-2) - (1) 各機器とも設置に伴う工事費を含むこと。

2-2) - (2) 設置後、データは臨床に供する十分な精度を有していること。また十分な精度が保証されるまで調整を行うこと。

2-2) - (3) 設置後の操作研修は設置者負担にて複数回実施されること。

2-2) - (4) 既設の設備、什器類の移設は最低限とし、業務に支障なく設置可能であること。

2-2) - (5) 現有機器の廃棄費用を含むこと。

2-2) - (6) 既設リース期間終了後の機器回収もしくは廃棄の費用は含むこと。

2-3) 期限について

2-3) - (1) 令和7年12月末までに設置、システム接続確認、操作研修を行うこと。

2-3) - (2) 令和8年1月より稼動可能なこと。

2-4) ソフトウェア

2-4) - (1) 調達物品と同一型のソフトウェアのバージョンアップは設置後1年以内は無償で行うこと。

2-5) 機器返還時の対応

2-5) - (1) 当該機器の返還、引き取りに要する費用及び搬出前の消毒、洗浄に係る費用、その他乙が行った設置工事に起因する施設機器の現状が必要な場合の費用は落札者の負担とする。

2-5) - (2) 機器の引き取りに当たっては、装置に記録された一切の情報を完全に消去するものとする。